

平成30年度 一人一人の確かな学力のために 6年

		学年の目標	2学期末の児童の様子	3学期末の児童の様子
基礎・基本	国語	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをもち、伝えられる児童を目指します。そのために、自分の考えをノートに記録する時間を確保してから伝える時間とったり、小グループでの話し合い活動を行ったりします。また、大人数の前で理由や根拠を添えて話せるように指導します。 新出漢字の定着(まとめの50問テスト90点以上を8割)を目指します。そのために小テストを単元ごとに行い、自分に合った練習方法で100点を取れるまで繰り返し取り組みます。また、漢字の意味を理解して多様な使い方が習得できるように指導します。 	<ul style="list-style-type: none"> 8割以上の児童が自分の考えをもちノートに記録することができています。少人数グループでの話し合い活動は、活発に行っていますが、大人数の前で理由や根拠を添えて発表できる児童が少ないので、指導を続けます。 繰り返し練習に取り組むことで、8割以上の児童がまとめの50問テストで90点以上をとることができています。ただ、多様な使い方になると苦手を感じている児童もいるので、漢字の意味も理解できるよう指導を続けます。 	<ul style="list-style-type: none"> 少人数グループでの話し合い活動は、活発に行っています。大人数の前では、原稿があったり、練習をしたりしている伝えることができるようになっています。 3学期は、まだまとめのテストが行われていませんが、小テストに向けて自分で計画を立て練習に取り組んでいます。また、今学期中に1年生から6年生のまとめのテストにも取り組むことで、6年間の既習漢字の習得を確実にします。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> 全学年の学習内容を確実に習得している児童を目指します。そのために、週4回の補習タイムを活用して計算ドリルや5年生の学習内容の東京ベーシックドリルに繰り返し取り組みます。またその習得率を学期ごとに診断テストで判断し、児童自ら課題を把握してベーシックドリルに取り組めるようにします。 ワークテストや練習問題にて、間違えた原因を追究し、再度問題に取り組み解決し、学習内容を確実に習得できるようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> 補習タイムでは、児童一人一人が自分の苦手な分野の東京BDを選び取り組んでいます。また、1学期末の診断テストでは、平均5点上昇しました。引き続き、それぞれの苦手が克服できるよう取り組んでいきます。 間違えた原因を追究し、再度問題に取り組んでいますので引き続き指導を続けます。 	<ul style="list-style-type: none"> 補習タイムでは、自らの課題を把握し、取り組みました。3学期は、再度6年生のドリル(アイテム)に取り組み、習得を確認しています。中学校に向けて、分からないところや悩んだところは、積極的に質問できるよう伝えます。 間違えた問題は、原因を追究して再度取り組むという習慣が身に付いてきました。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 読書に親しみ、6学年の読書目標ページ数1万ページを達成できる児童を目指します。そのために、マイブックとしていつも手元に本がある状態で、すぐ朝読書に取り組んだり、宿題に読書を組み込んだりして読書の時間を確保します。また、日頃から読んだ本を読書貯金箱に記録し、自らの読書量を確認できるようにします。 国語の単元ごとに熟語を辞典を使って調べ、使い方や意味などの語彙力を伸ばすとともに、日頃から調べる習慣を身に付けさせます。 話す・聞く力を身に付けた児童を目指します。そのために、話の要点をとらえたり、自分の考えをもちながら相手の話を聞くことができるよう朝会後に聞き取り小テストを行ったり、ハンドサインを使って自分の考えを伝えたりできるようにします。 話し合う重要性を理解し、話し合うことで自分の考えを深められる児童を目指します。そのために、小グループで話し合う活動を行ったり、話し合うための道具を活用します。 	<ul style="list-style-type: none"> マイブックがいつも手元にあり、朝読書やすきまの時間に進んで読書に取り組んでいます。6割の児童は、7千ページ以上読んでいます。引き続き家庭や朝読書の時間に読むことを指導することで学年目標が達成できるようにします。 辞書を使って意味を調べることは、一斉に行うときは進んで取り組むことができます。しかし、分からないとき常に辞書で調べる習慣が身に付いている児童は、1割程度です。 話し合うことで自分の考えが広がったり、深まったりすると感じている児童が増えています。引き続き、話し合う活動を行っていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝読書やすきまの時間に読書に取り組むことができています。2月中旬で、1万ページを達成した児童は、7割でした。2割の児童は、3月中達成できそうです。 卒業文集を書いたり、招待状を書いたりする際に進んで辞書を活用していました。自ら、辞書を使って調べる習慣が付いている児童は、2割程度です。 話し合うことで自分の考えを広げたり、深めたりできるかというアンケートに肯定的に答えた児童が9割を占めました。話し合うことで学びが深まると感じている児童が多いです。
思考力・表現力・判断力	思考力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> 自ら課題を見出し、見通しをもって解決することのできる児童を目指します。そのために、授業の始めにめあてを明確にし、自分の考えを言葉や文章で表現できるようにします。また、授業の最後には、まとめ、感想を書いて振り返ることで、自分の達成度を確認したり、次時の課題をもったりする時間を確保します。 興味・関心をもったことや学習内容に関係あることを自分の力で調べ解決できる児童を目指します。そのために、読書科や総合的な学習の時間を中心に調べ学習などの探究活動を充実させます。 ノートを工夫して書くことができる児童を目指します。そのために、自分の考えや意見をまとめるノート作りの指導を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間めあてを明確にし、最後にはまとめ、ふりかえりを行うことで思考がまとまり、達成度を実感できています。体育では、次時の課題をもつことができているのですが、国語や算数では、次時の課題をもたせられないときがあるので、授業の改善を図ります。 総合的な学習の時間や読書科では、進んで調べることができています。また、ご家庭の協力により週末の調べ学習では、自分が興味をもったことを進んで調べられるようになってきました。辞書を身近に置く習慣を付けるよう声を掛けます。 8割の児童が自分の考えや意見を分かりやすくまとめたノートを書くことができています。2割の児童は、分かりやすくまとめることに課題があるので指導を続けます。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間めあてを明確にし、最後にはまとめ、ふりかえりを行うことで思考がまとまり、達成度を実感できています。 社会科や読書科では、資料を複数読み比べ、調べることができました。調べたことから、考えたことをまとめたり伝えたりする活動をしていきます。 ノートを丁寧に書いているかというアンケートに肯定的に答えた児童が8割強でした。3学期末同様2割の児童の指導を引き続き行います。また、自分の考えや学習の過程を工夫してまとめることができる児童が6割程度です。
	学習習慣	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習時間を毎日90分(15分×6年生)取り組むことを目指します。そのために漢字・音読・読書・自主学習・算数の宿題を毎日課し、宿題の提出を確認します。また、自主学習ノートを活用し、自らの課題を考えて取り組むことができるよう声を掛けます。模範になる児童の取り組みやノートを掲示したり、「鹿骨東小家庭学習の手引き」を活用して指導したりすることで自己の課題を見つけ取り組むことができるようになります。 次時の授業の準備の習慣化を目指します。できている児童をほめたり、グループで声を掛け合ったりさせることで100%の定着を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習期間中は、90分取り組んでいます。毎日の宿題の提出率は、97～100%です。自主学習では、漢字、計算、興味をもったことを調べるなど、自分に必要な課題を考えて取り組むことができています。 次の授業の準備ができている児童は、6割程度です。引き続き声を掛けて、習慣化できるようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習期間中は、毎日90分家庭学習に取り組んでいます。毎日の宿題提出率も98～100%です。自主学習は、自分の課題に合った学習に取り組むことができる児童は、91%程度です。中学校に向けて、計画を立てて学習することの大切さを引き続き指導します。 次の授業の準備ができている児童は、7割程度です。中学校生活に向けて、見通しをもち準備することの大切さを伝えていきます。